

”図書館に人を呼ぶ！”取り組み紹介

1. 図書館で行った取り組み（行う予定の取り組みを書いてもOK!）

内容・テーマ（ 生徒をその気にさせる ）

※ 以下に取り組みの詳しい内容、準備したこと、経過などを書いてください。

- ・高校生に読んでほしい50冊（小冊子、新潮文庫）の配布（5月）→終礼連絡→本を展示
- ・夏の100冊（小冊子、角川・集英社）の配布（7月）→終礼連絡→本を展示
例年同じタイミングで配布していたが、今年は新潮社を先に配布した。
- ・進路課の便りに図書館進路コーナーの宣伝を書いてもらう
- ・「進路対策プリント」と称して、ブックリストなどを配る（2年生）←学部学科説明会などがある
- ・1年は〇〇、2年は課題研究、3年は進路小論文、というように、学年ごとのテーマで何か働きかける。
リスト配布、展示、先生からの宣伝、図書館だよりでの宣伝など
- ・授業でやっている内容の関連本を展示→図書館だよりでも宣伝、先生にも授業のときに言ってもらう
- ・新刊案内を多く出してみる（これから）

2. 工夫したポイント

本校の生徒は、部活や課題で忙しいけど、素直。

「読んでみよう」と勧められれば、借りて読んでみる！という子が多い。

リストを配ればリストを持って借りに来るような感じ。

割と反応してくれるので、継続的に働きかけることを心がける。

とりあえず図書館が学校生活にふつうに入っているように、情報発信をしていく。

あとは、先生から授業時などに声をかけてもらう。

また、声をかけたということ、教えてもらう。

3. 結果・次回への反省

現2年生の利用が少ない。昨年、働きかけに失敗したような印象がある。

例年2年生では課題研究があり、図書館を使う状況はあるので、そのときにうまく宣伝したい。

1, 2年生で2学期の間ずっと図書館利用の授業があるので、その機会もうまく使いたい。

授業で強制的に使う→授業以外のことでも使う→日常的に使うという段階を経て行けばいい。